

令和3年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 小山市 】
令和 3 年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 小山市教育委員会学校教育課 <input type="checkbox"/> 小山市教育委員会教育総務課 <input type="checkbox"/> 小山市市民生活部国際政策課 <input type="checkbox"/> 小山市外国人児童生徒教育研究会(外国人児童生徒教育拠点校) 校長7名、指導担当教諭10名
<p>2. 具体の取組内容</p> <p>(1)地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営</p> <p>「小山市多文化連絡協議会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進学説明会についての情報交換 ・ 外国人学びの教室の実施・運営について協議 <p>「小山市外国人児童生徒教育研究会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8回の開催を予定していたが、コロナ禍により実施方法等を検討し7回実施 ・ 授業研究会実施、広報誌作成、研修会への参加等 <p>(2)学校における指導体制の構築</p> <p>本市における外国人児童生徒教育のセンター的機能を担う外国人児童生徒適応指導教室「かみかみ」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通級児童生徒数18名(10か国) そのうち、令和3年度に卒業した児童生徒数14人 ・ 多言語対応の指導員 6名(スペイン語、ポルトガル語、英語、中国語、タイ語) ・ 指導員の通訳派遣 17校に述べ64回 <p>外国人児童生徒教育拠点校「日本語教室」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内7校(小学校5校、中学校2校)で日本語教室を運営 ・ 拠点校Aにて非拠点校からの通級指導(対象児童:3名)を実施 <p>(3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施</p> <p>「小山市外国人児童生徒教育研究会」を活用した授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の指導計画に基づいた指導計画の作成、児童生徒個々の目標を設定 ・ 自校目標における学習指導目標の設定、評価 ・ 研修会での授業研究会にて指導方法の検証および改善 <p>(4)成果の普及</p> <p>① 市内各校への情報提供・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌の発行 2回 ・ コロナ対応文書の翻訳版を市内各校に配付、活用 ・ 翻訳文書を市内学校のグループウェアで共有 <p>② オンライン研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 19校95名参加し ・ 市内外国人児童生徒等に対する現状や情報、指導方法についての共有 <p>③ 取材・視察への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国、地方公共団体および学校、学生、教職員等に対応

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

外国人児童生徒指導員・支援員の配置

- ・ 外国人児童生徒指導員8名、支援員5名、適応指導教室指導員6名の配置
- ・ 拠点校7校および非拠点校(要日本語指導児童生徒多数在籍校)6校にて巡回支援

3. 成果と課題

(1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営

- ・ 複数課による情報交換・共有
- ・ 拠点校から非拠点校への情報提供
- ・ データ共有による有効活用
- ・ 〈課題〉 感染症対策による実施方法の検討

(2) 学校における指導体制の構築

- ・ 外国人児童生徒適応指導教室卒業時の「日本語学習のあゆみ(学習カリキュラム)」達成状況・・・86%
- ・ 外国人中学3年生および義務教育学校9年生の進学希望・・・97%(令和4年2月28日時点)
- ・ 〈課題〉 指導方法や体制を臨機応変かつ柔軟に対応

(3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施

- ・ 個別の指導計画による適切な指導
- ・ 教材・教具の工夫と、担任および指導員との連携
- ・ 授業実践による自身の指導力の振り返りと工夫改善
- ・ 各拠点校7校における自校目標(学習指導)の評価・・・A段階 42.9%
- ・ 個別の指導計画の指導目標が達成できた児童生徒の割合(各拠点校7校における評価)・・・58.6%
- ・ 〈課題〉 担当教諭と指導員および学校職員間での目標設定基準や計画、手立て等の共有
- ・ 〈課題〉 個別の指導計画に基づいた指導目標の達成
- ・ 〈課題〉 効果的な指導支援のための教材研究と指導の工夫

(4) 成果の普及

- ・ 外国人児童生徒教育への理解促進と充実への寄与
- ・ 外国人児童生徒の受入や多文化共生社会の実現に向けた環境づくり
- ・ 〈課題〉 日常的な国際教育の推進

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- ・ 個に応じた取り出し指導や入り込み指導によるきめ細かな指導・支援
- ・ 学校での心の安定を図る大きな役割
- ・ 母語対応による信頼関係の構築
- ・ 拠点校と非拠点校の巡回による指導法や教材の共有
- ・ 指導員・支援員配置校管理職による勤務評価・・・ほぼ全員が「満足」できる評価であり、そのうち約6割が「大変満足」できる評価
- ・ 〈課題〉 多言語化、多文化化、散在化への対応

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校
本事業で対応した幼児・児童 生徒数	人 (園)	154人 (12校)	26人 (3校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導 を受けた児童生徒数		149人 (12校)	26人 (3校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)

4. その他(今後の取組予定等)

- ・ 新規採用指導員・支援員に対する研修の充実
- ・ 日本語指導が必要な児童生徒が少数在籍している学校への指導員による巡回指導
- ・ 一人一台端末等を活用した指導等についての研究

